

学校関係者評価報告書

愛媛県立野村高等学校

評価実施日		令和3年 2月 24日 (水)		
委員	氏名			備考
	酒井 康次	地域代表	元PTA監事	
	谷本 英樹	地域代表	タニヤ店主	
	和氣 岩男	地域代表	野村支所支所長	
	鎌田 淑博	城川中学校	教 頭	
	小川 英志	野村中学校	教 頭	
評価・提言等		提言等に対する改善方策等		
<p>今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標である3時間以上の学習時間の確保が達成されている。経年変化でもその伸びは著しく、生徒をはじめ関わる教員の取組みの姿勢が効果的であると推察する。 ・学習に対する評価が上がっている。そのことが進学や就職につながっているのではないかと思う。 ・今年度はコロナ禍に見舞われ、年度当初は臨時休校などにより通常の学習時間の確保が難しい状況だと思いますが、生徒自身のアンケートでは、多くの項目が昨年度の結果を上回っていることに、大変すばらしいと感じている。 		<p>学年では目標達成できたが、クラスでは達成できていないクラスがある。今後も継続して、各学年主任、正副担任、教科担当者が協力して、家庭学習の意義について理解させ、時間の確保を促していきたい。また、生徒一人ひとりを大切にしたい、きめ細かな学習指導を心がけていきたい。</p>		
<p>(2) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員用アンケートでは、昨年度との比較で今年度の数値が上がっているところが5項目あり、教員の皆様が共通理解のもと協力されている様子が伺える。 ・緑ヶ丘通信に運動会を通じて2・3年生との交流は楽しかったとあり、入学した早い時期に全校で交流行事はできないものだろうか。前年度の年間行事を紹介するなど見て聞いて楽しそうと思える企画を考えてみてはどうか、検討していただきたい。 ・コロナ禍で学校行事等の縮小等があり、その影響もあり少し子どもたちの挨拶が少なくなったように感じている。 		<p>生徒が主体となる生徒会活動を充実させ、委員会活動を中心に、学校行事やボランティア活動に積極的に参加を呼びかけ実践していきたい。さらに、年間行事の紹介等の企画も考えていきたい。</p> <p>生徒会や部活動等单位で朝の挨拶運動を実施している。今後も継続し、子どもたちが心のこもった元氣な挨拶につながるよう励行していきたい。</p>		
<p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで国公立大学の合格者が少なかったのに今年度、私立も含め、多くの合格者が出ている事は、先生方の指導の良さの表れだと感じている。 ・一定の成果が出ている。来年度以降の中学生、保護者の判断の基準になると思う。 ・就職希望者全員が内定したことは喜ばしい。コロナ禍にあって社会情勢は流動的であるが、今後も生徒の生活確立に向けて支援していただきたい。 ・地元にも優秀な人材を求めているので、地元就職への指導もお願いしたい。西予市からの地元就職者への5年間補助もあるので活用していただきたい。 		<p>コロナ禍の厳しい状況は続いているが、子どもたちにしっかりと目標を持たせ、各クラス担任、学年団、進路課が中心となり進路実現に向けたサポート体制を継続していきたい。</p> <p>地元就職への就職活動も含め、就職希望者全員が就職内定できるように、継続した支援をしていきたい。</p>		
<p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相撲や陸上など野村ならではのスポーツに特化した活動の指導も成績に出ているので、引き続きお願いしたい。 ・入学者数が減少していく中で、部活動等については、大変やりにくくなってきていると感じている。その中でも好成績を残していただいている部活動もあるので、今後とも精進していただきたい。 ・教員アンケートで、特別活動の5項目の内4項目が昨年度の数値より上がってきている。コロナ禍において自粛を余儀なくされる中で、様々な工夫をされながら、実施に向けて取り組まれていることと感じる。Withコロナの中、感染予防と社会活動を両立する「新しい生活様式」の実践は欠かせないと思う。 		<p>小人数ではあるが、特徴ある部活動を今後も展開していきたい。また、地元中学生との中高の合同練習会や中学生体験入学などを通して、本校の部活動の状況や実績を積極的に紹介していきたい。</p>		

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>(5) PTA活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者はとても協力的であり、高校と保護者との連携も密になり、教育活動を陰で支えてもらっている。 ・地域に根ざした学校だけに関係者の関わりは良好な状況で取り組まれている。 	<p>今以上に地域との連携を密にし、PTA総会などのPTA行事に関心を持ってもらえるよう、ホームページやPTA会報などの広報活動を工夫していきたい。 感染症の拡散状況を注視してPTA行事を行っていきたい。</p>
<p>(6) 人権・同和教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野村育成園との交流は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。今後どのような形での交流ができるのか考えていきたい。 ・今年度、ミャンマーから技能実習生を4名受け入れている。可能であれば交流もお願いしたい。 	<p>来年度の新型コロナウイルスの感染状況は予測できないが、感染防止の対策や対応が必要となる可能性が高い。人権教育関係の行事や高齢者との交流活動には配慮や対応を考え、できるだけ実施していきたい。 今後も地域との連携を深め、本校での人権・同和教育をさらに充実・発展させていきたい。</p>
<p>(7) 情報教育・読書教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページも読みやすい、親しみのある内容となっている。生徒たちが中心となり作成した「のむ太郎の学校さんぽ」や野村高校PR動画もユニークでありとても分かりやすい内容に仕上がっている。 ・読書指導については、図書館の蔵書の充実や利用しやすい環境の整備が評価に表れている。 ・令和3年度からのICTを活用した本格的な情報教育に向け、生徒自身はもちろんのこと、それを指導する先生方の研修環境の充実をお願いしたい。 	<p>ホームページについては、常にタイムリーで読みやすい更新、個人情報の適切な管理運営に努めていきたい。 読書指導については、話題の書籍や生徒にとって興味ある書籍などを充実させ、今後も図書館の利用促進に向け働きかけていきたい。 今年度、愛媛CATV主催のICT研修会を年間6回受講させていただいた。今後も教職員一人一人のスキルアップを目指した研究会を実施し、教育環境の充実を図っていきたい。</p>
<p>(8) 環境教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも校内環境がきちんと整備されており、訪れた者にとっても、校内で一日を過ごす生徒たちにとっても癒しを感じる快適な環境となっている。 ・野村高等学校については、生徒を学校のみでなく、地域ぐるみで見守る体制ができていることから、今後も地域と連携した活動をお願いしたい。 ・いつ訪問してもきれいに整えられた校内環境から、環境整備に対する意識の高さを感じる。健康安全の指導や研修も適切に行われている。 	<p>生徒が安全・安心で快適な学校生活を送ることができるよう、今後も日々環境整備に心掛けていきたい。 地域ぐるみの活動を大切にし、地域とともに歩む学校づくりを大切にしていきたい。</p>
<p>(9) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価表から本校には他校にない特色がある(生徒94.2)は創意工夫を生かし特色ある学校づくりを進めている(教員88.6)を上回り、学校経営が円滑であることが伺える。 ・「ものづくりワークショップ」や「のむら復興デザインワークショップ」への参加、「サツマイモの6次産業化について」取組み等、地域に根ざした活動がすばらしい。今後も継続させていただきたい。 ・野村高校には全国でも9校しかない畜産科を有していることからこの特異性を活かすような事業を実施していただきたい。併せて、近隣にある県畜産研究センターとの連携を図ることができるようなメニューを検討していただきたい。 	<p>今後も関係機関と連携を深め、学校の存続と特色ある学校づくり、そして魅力ある学校経営に邁進していきたい。 隣接している県畜産研究センターと連携を図り、畜産科の特色ある学校教育をさらに展開していきたい。</p>